

H22

S29

H18

年表

# 安土町の あゆみ56年の

S37

S43

S45

S56

私たちが生まれ、幼い日々を過ごした、始まりの地。  
 そして、あの日、あの場所、あの時間。  
 笑顔が、ぬくもりが、今もそこにあります。  
 56年の思い出が詰まった懐かしい記憶の風景をたどり、  
 今ここに私たちがいます。  
 ありがとう、安土町。

H8

H1

S63



安土町

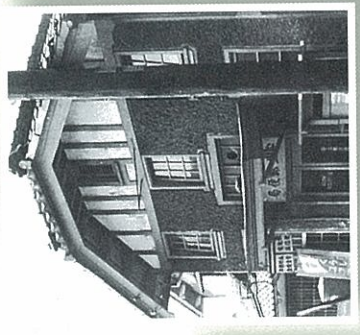
# 前史誕生

町制施行時のまちの姿

あづち

# 安土村

古くから商業・交通の中心地。  
 国鉄安土駅の設置や郵便局・銀行の設置により、  
 活気ある町が培われてきました。



安土郵便局



安土小学校



安土村役場

明治時代以降、地理的・歴史的背景を有する村々は、多くの曲折を経て今日の行政単位にまとめられてきました。

明治5(1872)年の澁賀県誕生後、同22(1889)年に町村制が施行され、常楽寺村ほか9か村が安土村に、老蘇村ほか4か村が老蘇村となりました。以後この2か村は、明治・大正・昭和の65年間にわたって地方行政単位としての使命を果たすことになり、昭和29(1954)年4月1日、安土町となったのです。

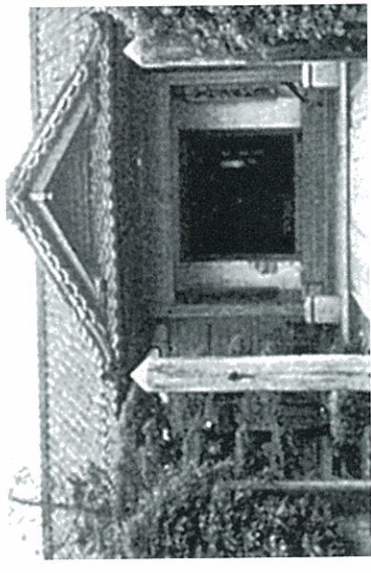


老蘇村役場

おいそ

# 老蘇村

「古昔老蘇荘」とその名を残す老蘇村は、本居宣長などの歌人に詠まれた万葉の舞台として、故郷を思わせる静かな地です。



老蘇小学校

明治22年に安土村と老蘇村が誕生したとき、安土村役場は常楽寺の連合戸長役場を、老蘇村役場は東老蘇福泉庵の連合戸長役場をそれぞれ襲用していました。安土町の発足に伴い、安土村役場が新町の役場として襲用され、旧老蘇村役場は支所として行政事務を分担していました。

古くから、安土町の産業は米作農業が主であり、菜種の栽培も盛んでした。わずかであった水産業は、中之湖(天中の湖、小中の湖)の干拓が進むにつれて衰退してきました。湖上交通時代の水陸結節点であった常楽寺付近では、東海道本線の駅が置かれ、商業の再生が活発化しました。



## 昭和29年~35年

### 昭和29年(1954)

- 安土村・老蘇村合併、安土町が誕生(4月1日)
- 初代安土町長に梅井孫三郎氏就任
- 安土町建設計画樹立
- 安土町財政計画策定
- 安土中学校創立(蒲生第一中学校東校舎引継)
- 第1回町民野球大会開催

### 昭和30年(1955)

- 第2代安土町長に福本治三郎氏就任
- 老蘇幼稚園創立(老蘇小学校内併設)
- 町営住宅建設(駅前住宅)

### 昭和31年(1956)

- 国鉄東海道線電化完成
- 国有林徹山町へ譲与
- 安土小学校給食開始

### 昭和32年(1957)

- 大中の湖干拓事業着工(昭和32年~昭和43年)
- 蒲生野耕地整備事業完了(昭和31年~昭和32年)
- 安土中学校校章制定
- 安土中学校旧塔校舎建設着工
- 安土中学校に老蘇学区1・2年生通学開始
- 老蘇小学校給食開始

### 昭和33年(1958)

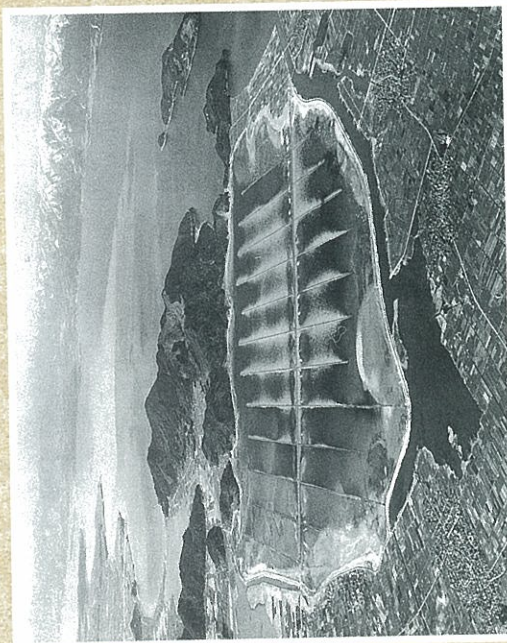
- 安土幼稚園創立(安土小学校内併設)
- 瓢箪山古墳が国史跡に指定
- 『広報あつち』の前身『伸びゆく安土』創刊
- 安土中学校旧塔校舎完成(町内全生徒通学となる)
- 安土中学校運動場完成
- 国指定重要文化財「奥石神社本殿」屋根葺替

### 昭和34年(1959)

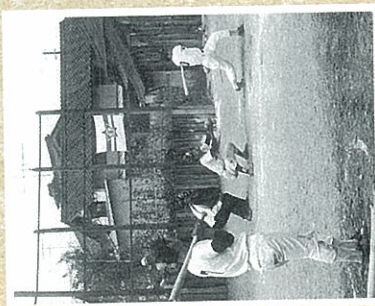
- 新農村建設基礎調査実施
- 土壌断面調査着手(昭和34年~昭和36年)
- 町営住宅建設(上豊浦住宅)
- 安土中学校校歌制定

### 昭和35年(1960)

- 小中の湖干拓客土事業完成(昭和31年~昭和35年)
- 新農村建設事業着手(昭和35年~昭和37年)
- 安土城跡整備(黒金門)



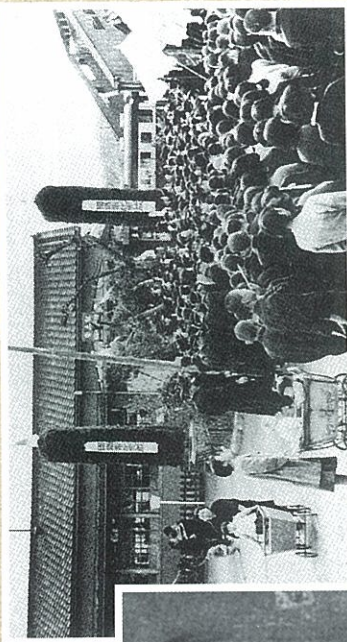
大中の湖干拓事業 [昭和32年~43年]



第1回町民野球大会開催 [昭和29年]

# 昭和29年、安土町誕生

安土村・老蘇村が合併  
誇りある未来へと、  
新たなひのき舞台が幕を開ける



国鉄東海道線電化完成 [昭和31年]



最初の安土町役場

昭和29年4月、安土村と老蘇村が合併し、安土町としてのさまざまな計画が策定され、新しい歴史が始まりました。

合併当時、安土中学校に通うのは安土学区の生徒だけでしたが、順次、老蘇学区の生徒も統合され、昭和33年に全国でもまれな円筒形の安土中学校校舎が完成したのを機に、町内の全生徒が通学することとなりました。この頃から安土・老蘇の幼稚園が新たに創立され、小学校では学校給食も始められました。

産業では、国内の急速な人口

の増加と食糧事情により、近代農業の先駆けとして大中の湖干拓事業に着手しました。

交通面では、昭和31年に国鉄(現JR)東海道線の米原~京都間が電化開通し、東京~大阪間が同一の電気機関車で運行されました。

また、安土町内にはいくつもの歴史遺産があり、これまでに国の特別史跡に指定されていた「安土城跡」や国史跡「老蘇森」に加え、県下最大・最古といわれている「瓢箪山古墳」が昭和32年に国の史跡に指定されました。

創立当時の安土中学校 [昭和33年安土幼稚園開園・昭和50年安土町公民館]

■昭和29年(1954) ヒキニ水爆実験で「第5福竜丸」被爆/ジュネーブ協定調印 ■昭和30年(1955) 初の原水爆禁止世界大会、広島で開催/森永ヒョウ乳事件が表面化 ■昭和31年(1956) 日本登山隊、ヒマラヤのマナスル初登頂/イストラエル軍、エジプトに侵入、スエズ戦争勃発 ■昭和32年(1957) 南極観測隊、昭和基地を建設/日本、国連安保理事会非常任理事国に当選/旧ソ連、世界最初の人工衛星スプートニク1号打ち上げ成功 ■昭和33年(1958) 米、人工衛星打ち上げ成功/東京・神戸間で特急こだまが運転開始/日本銀行が1万円札を発行/東京タワー完成

昭和29年~35年  
国内外の  
出来事



## 昭和36年~40年

昭和36年(1961)

- 委作改良事業
- 安土中学校校旗制定
- 安土中学校技術家庭教室完成
- 町営住宅建設(平井・常楽寺住宅)
- 安土城跡整備(黒金門・一の丸)

昭和37年(1962)

- 第3代安土町長に辻井匠三氏就任
- 有線放送開始(2月5日)
- 安土城跡整備(二の丸・二の丸帯郭)

昭和38年(1963)

- 第4代安土町長に北林織之助氏就任
- 安土中学校体育館完成
- 安土中学校運動場拡張
- 安土城跡整備(二の丸帯郭・隅櫓)

昭和39年(1964)

- 東海道新幹線開通
- 安土町社会福祉協議会発足
- 安土小学校プール完成
- 水稲航空防除事業開始
- 安土地区湛水防除排水機場完成
- 安土城跡整備(黒金門・二の丸帯郭)

昭和40年(1965)

- 町役場庁舎増築(駅前庁舎)
- 安土町母子健康センター開設
- 母子保健推進員配置
- 妊婦検診・母親教室開始
- 安土小学校校舎改築
- 老蘇小学校プール浄化施設完成
- (株)吉野工業所操業開始
- 大中の湖南遺跡発掘調査
- 安土城跡整備(本丸・天主台・三の丸)

# 昭和40年、 古代ロマン

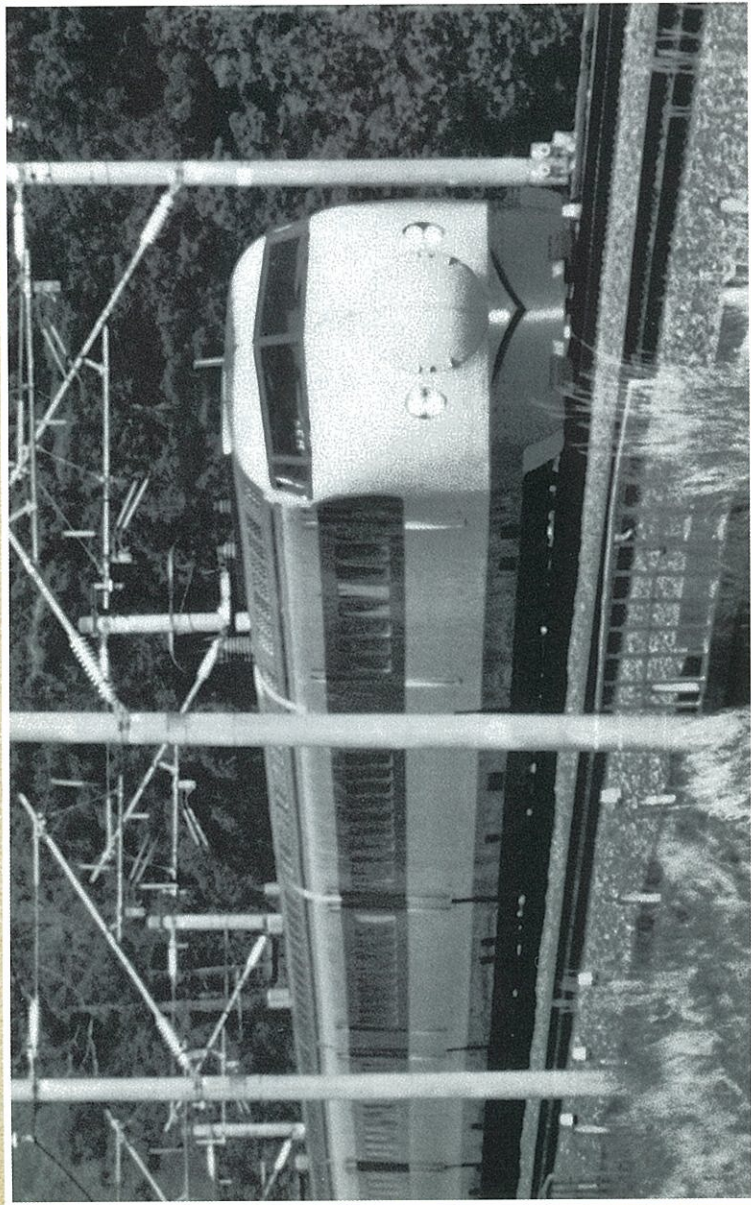
弥生時代の大規模な  
農耕集落が存在した  
大中の湖南遺跡



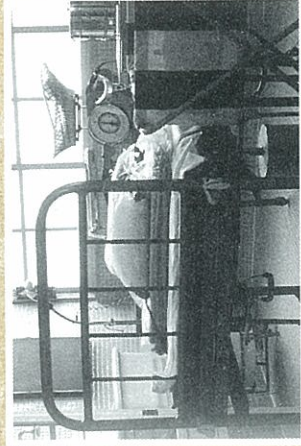
大中の湖南遺跡発掘調査 [昭和40年]



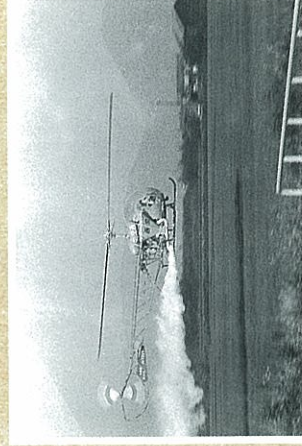
有線放送開始 [昭和37年2月5日]



東海道新幹線開通 [昭和39年]



安土町母子健康センター開設 [昭和40年]



水稲航空防除事業開始 [昭和39年]

安土町では、昭和37年2月  
から有線放送を開始しまし  
た。有線放送は独自の電話回  
線を利用するために音質が安  
定しています。庁舎内での案  
内から防災情報まで、住民向  
けの情報手段として幅広く活  
用しました。  
また、小・中学校の教育施設  
の拡充とともに、福祉施設の  
建設に取り組んできました。  
昭和40年には安土町母子健康  
センターを開設。母親と子ども  
の健康状態や発育の様子など  
を見守る拠点として機能しま  
した。

昭和40年には、大中の湖南  
遺跡発掘調査を実施しまし  
た。大中の湖は琵琶湖の内湖  
のひとつであり、その干拓事  
業中に発見された大中の湖南  
遺跡は、弥生時代の代表的  
な農耕集落遺跡で、昭和48年、  
国の史跡に指定されました。  
一方、昭和39年10月、東海道新  
幹線が開通し、東京―新大阪  
間を4時間で結ぶ夢の超特急  
「ひかり」号が登場しました。  
農業では、昭和39年から水  
稲航空防除が始められ、ヘリ  
コプターによる農薬散布が行  
われました。

■昭和36年(1961) 世界初の有人飛行船の打ち上げ/イタイタイ病のカドミウム原因説発表 ■昭和37年(1962) キューバ危機/郷江謙一氏、小型ヨットで太平洋横断に成功 ■昭和38年(1963) 日本銀行が新千円札を発行/ケネディ米大統領が暗殺される ■昭和39年(1964) ハレスチナ解放機構(PLO)設立/新潟大地震/東海道新幹線営業開始/東京オリンピック開幕/米原子力潜水艦シードラゴン号佐世保入港 ■昭和40年(1965) 米、ベトナムの北緯開始/日韓基本条約調印

昭和36年~40年  
国内外の  
出来事



# 昭和41年~45年

## 昭和41年 (1966)

- 大中人種・増反開始
- 大中の湖農業協同組合設立
- 八日市衛生プラント加入 (し尿処理事業)
- 第1回安土町音楽会開催
- 町営住宅建設 (松原住宅)
- 安土城跡整備 (天主台・本丸)

## 昭和42年 (1967)

- 第5代安土町長に小杉泰男氏就任
- 第1回安土町文化祭開催
- 国指定重要文化財「浄厳院本堂」解体修理完成 (昭和38年~昭和42年)
- 安土城跡整備 (本丸・隅櫓)

## 昭和43年 (1968)

- 大中の湖干拓事業完成
- 大中開村式
- ゴミ焼却場完成
- さつき会館完成
- 安土老人クラブ連合会結成
- 町営住宅建設 (神楽住宅)
- 安土城跡整備 (本丸隅櫓・八角平)

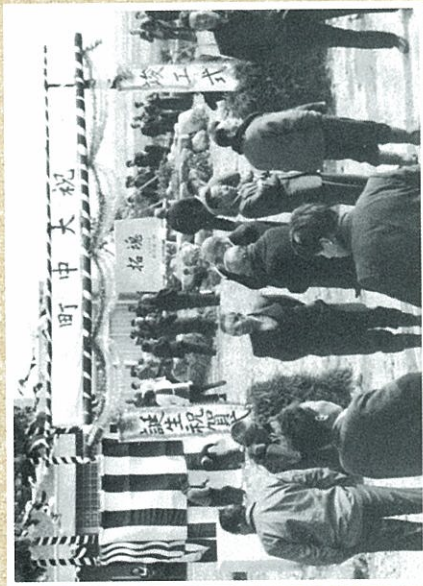
## 昭和44年 (1969)

- 町章制定
- 「広報あつち」創刊
- 有線放送自動化

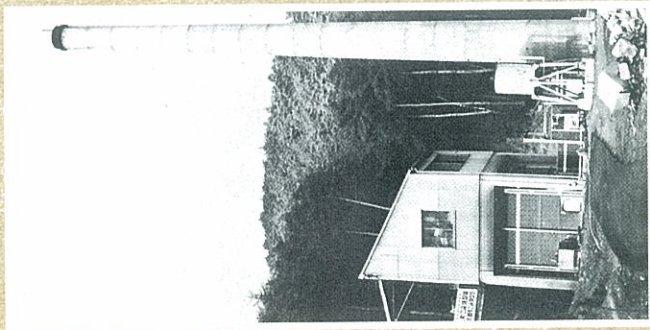
- 近江風土記の丘整備完成
- 県立営農大学校開校
- 第1回シユニアリーダーキャンプ開催
- 安土町青少年育成町民会議発足
- 安土町連合青年会発足
- 観音寺城跡発掘調査着手 (昭和44年~昭和45年)
- 安土城跡整備 (三の丸隅櫓・徳川邸)

## 昭和45年 (1970)

- 乳幼児健診開始
- 胃がん検診開始
- 子宮頸がん検診開始
- 県立近江風土記の丘資料館開設
- 安土小学校新校舎完成
- 安土中学校校地拡張
- 第1回町民地区対抗バレーボール大会開催
- 安土城跡整備 (本丸・三の丸・硝煙蔵)



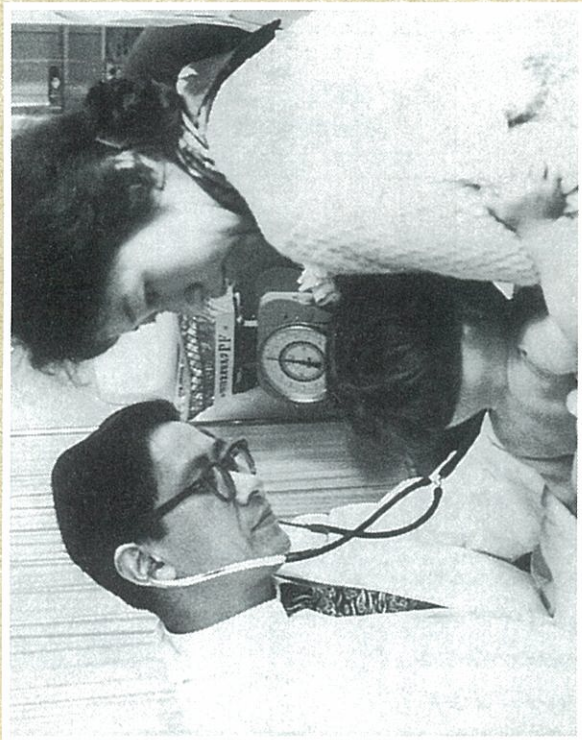
大中開村式 [昭和43年]



ゴミ焼却場完成 [昭和43年]

# 昭和43年、大中の湖干拓

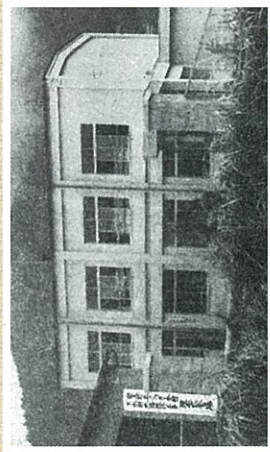
広大な農地を舞台に  
近代農業の新たな幕開け



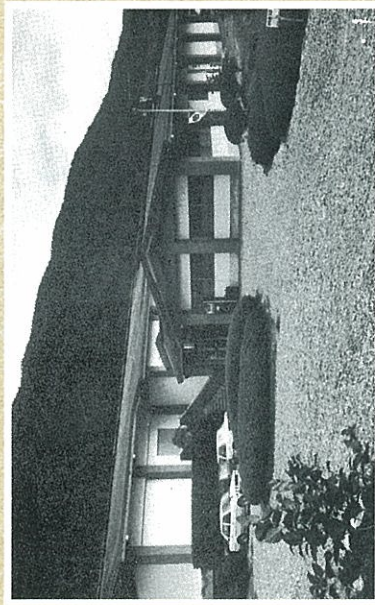
乳幼児健診開始 [昭和45年]

生活面では昭和41年にし尿処理を広域で行う八日市衛生プラントに加入しました。また、町内では家庭ゴミの収集が始まれ、上出地先にゴミ焼却場が昭和43年に完成しました。

大中の湖の干拓事業完成に伴い、昭和44年4月には県立営農大学校が開校しました。次代の農業を担う優れた人材を育成するとともに、地域社会における農業の振興に指導的役割を果たす人材を養成することをめざしました。



さつき会館完成 [昭和43年]



県立近江風土記の丘資料館開設 [昭和45年]

昭和45年10月には、近江風土記の丘が完成しました。ここには県内の歴史、民俗、考古などの資料を展示する資料館や、大中の湖南遺跡からの出土品を納める収蔵庫が建設されました。また、昭和45年11月には、安土小学校の新しい校舎が完成しました。この校舎の完成に次いで、老蘇小学校校舎、安土小学校体育館の建設計画が進められました。その他、母子健康センターでは、乳幼児健診や各種がん検診も始められました。

■昭和41年 (1966) 全日空機、羽田沖で墜落/中国、文化大革命始まる/ビートルズ、日本武道館で公演/人口1億人突破 ■昭和42年 (1967) 第3次中東戦争開始/中国が初の水爆実験 ■昭和43年 (1968) 米原子力空母エンタープライズ佐世保寄港/川端康成氏、ノーベル文学賞受賞 ■昭和44年 (1969) 東大紛争、機動隊が安田講堂の封鎖解除に出動/米、アポロ11号、人類初の月面着陸に成功 ■昭和45年 (1970) 日本万国博覧会開会/日航機「よど号」ハイジャック事件

昭和41年~45年  
国内外の  
出来事



## 昭和46年～50年

### 昭和46年(1971)

- 町役場仮庁舎へ移転(下豊浦弁天へ)
- 税事務等電算処理導入
- 安土町同和対策長期計画樹立
- ホームヘルパー派遣事業開始
- 安土町学校給食センター完成
- 県立老人ホーム安土荘完成
- 安土町体育協会発足
- 鳥打周遊線新設
- 町営住宅建設(弁天住宅・第二期)
- 安土ニュータウン住宅開発開始
- 安土城跡整備(天主台・硝煙蔵)

### 昭和47年(1972)

- 安土町総合発展計画樹立(基本構想)
- 安土町学校給食センター給食開始
- 成人病検診開始
- 安土小学校体育館完成
- 老蘇小学校新校舎完成
- 第1回親子球技大会開催
- 町営住宅建設(弁天住宅・第二期)
- 江の島住宅開発開始
- 城南地区ほ場整備事業第一期地区着工(昭和47年～昭和51年)
- 安土城跡整備(天主台)

### 昭和48年(1973)

- 安土町都市計画線引決定

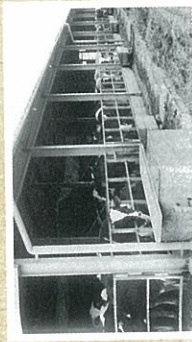
- 路線バス廃止
- 大中肉牛生産団地完成
- 糖尿症精密検査開始
- 老蘇保育園開設
- 老蘇幼稚園園舎完成
- 第1回町民体育大会開催
- 第1回町民水泳大会開催
- 十六・加賀住宅開発開始
- 大中の湖南遺跡が国史跡に指定
- 常楽寺山古墳群発掘調査
- 安土城跡整備(搦手)

### 昭和49年(1974)

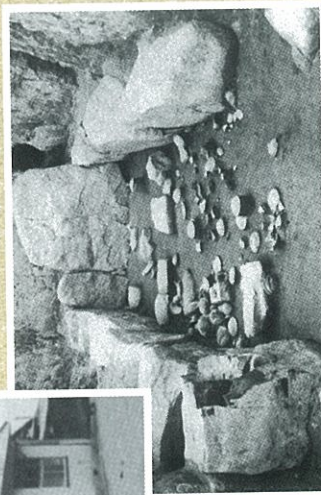
- 皇太子ご夫妻(当時)安土町行啓
- 公社電話自動化完成
- 町民憲章制定(11月3日)
- 町のシンボル決定(木は椿・花はよしの花・鳥はよしきり)
- 同和教育推進協議会発足
- 県立農業試験場完成
- 安土幼稚園園舎完成
- 安土城跡整備(運池周辺)

### 昭和50年(1975)

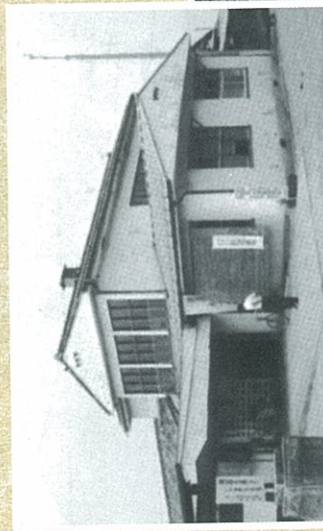
- 老蘇小学校創立100周年
- 安土中学校プール完成
- 十七住宅開発開始
- 安土城跡整備(搦手)



大中肉牛生産団地完成  
[昭和48年]



常楽寺山古墳群発掘調査 [昭和48年]



町役場仮庁舎へ移転(下豊浦弁天へ)  
[昭和46年]



皇太子ご夫妻(当時)行啓 [昭和49年]

# 昭和49年、町制20周年

記念すべき年  
喜びに包まれて  
新しいまちづくりに挑む

教育施設の整備事業も着々と進み、昭和47年4月に安土町学校給食センターや老蘇小学校の新校舎が完成し、昭和48年に老蘇幼稚園の園舎が、昭和49年に安土幼稚園の園舎が完成しました。そして昭和46年12月、町役場が下豊浦の仮庁舎(旧琵琶湖干拓建設事業所)へ移転しました。新庁舎の建設は、昭和49年度(町村合併20周年記念)を目標に進められました。町制20周年を迎えた昭和49年11月3日、町民憲章や町木「椿」・町花「よしの花」・町鳥「よしきり」

が決まりました。産業振興では、大中の湖の干拓による農地整備などにより、広大な農地が広がり、複合経営が展開されるようになりました。昭和49年には、その中核的な役割を果たす県立農業試験場が完成しました。さらに、この年の9月、皇太子ご夫妻(当時)が、新しく建設された県立農業試験場と大中農協をご見学になり、たくさんの方がお出迎えをしました。町制20周年の記念すべき年の皇太子ご夫妻の行啓は、大きな喜びとなりました。

昭和46年～50年  
国内外の  
出来事

■昭和46年(1971) ドルショックで株価大暴落 ■昭和47年(1972) 連合赤軍、軽井沢・浅間山荘事件/沖縄の施政権返還、沖縄県発足/日中共同声明発表、日中国交回復 ■昭和48年(1973) 日本、東独と国交樹立/OPECの6カ国石油値上げ、石油危機深刻化 ■昭和49年(1974) 多摩川決壊 ■昭和50年(1975) サイゴン政権無条件降伏、ベトナム戦争の終結/スエズ運河、8年ぶりに再開



## 昭和51年~55年

### 昭和51年(1976)

- 母子健康センターを健康センターに名称変更
- 通園バス運行開始(幼稚園・保育園)
- 水耕温室栽培施設設地完成
- 第1回高齢者スポーツ大会開催
- 安土中学校クワンド改修
- 町営住宅建設(宮津住宅)

### 昭和52年(1977)

- 安土町水道事業所完成
- 安土町公設小売センター開店
- 轍山林道開設事業完成
- 松嶺虫航空防除事業開始
- 安土町農業協同組合改築移転
- 第1回安土町民のつどい開催
- 安土町文化協会発足
- 公民館教室開講
- 女性セミナー開講
- 安土町寿大学開講
- 小中学校で米飯給食開始(週2回)
- 老蘇小学校体育館完成
- 安土幼稚園園舎増築
- 城南地区ほ場整備事業第1期工事完成(昭和47年~昭和52年)
- 四の坪住宅開発開始

### 昭和53年(1978)

- 合成洗剤回収運動実施
- 琵琶湖富栄養化に伴い廃油回収開始
- 安土町社会福祉協議会駅前に移転
- しいたけ不時栽培施設設地完成
- 大中肉牛日本一の栄冠に輝く
- 第1回地区対抗駅伝大会開催

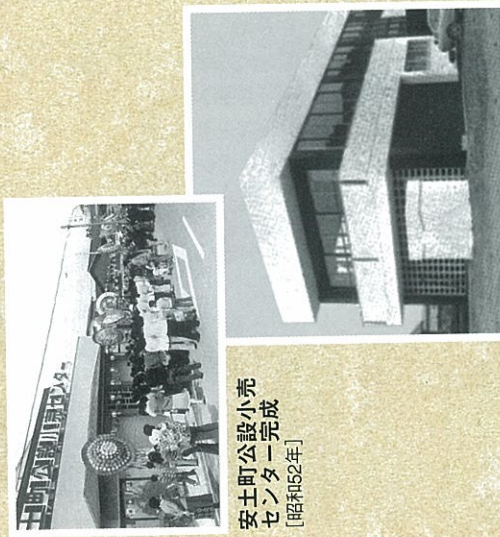
### 昭和54年(1979)

- 第6代安土町長に辻悦藏氏就任
- 町制25年目で人口1万人突破
- 上水道供用開始
- 県中部広域用水供給開始
- 老蘇連絡所移転
- 安土町公民館完成
- 町公民館に図書室設置
- 安土保育園完成(安土・老蘇保育園統合)
- 安土小学校運動場拡張(旧保育園舎解体)
- 粉石けん推進連絡協議会発足
- 城南地区ほ場整備事業第2期工事完成(昭和48年~昭和54年)

### 昭和55年(1980)

- 町役場新庁舎完成(城をモチーフ)
- 老蘇連絡所廃止(安土駅前)
- 県道安土西生来線高架橋・地下道完成
- 上豊浦踏切一部除去
- 町営住宅解体(駅前・上豊浦住宅)

- 旧老人ホーム解体
- 老蘇農業協同組合改築移転
- 老蘇多目的センター完成(老蘇農協)
- 高校生父母連絡協議会発足
- 町民クワンド完成
- 第1回壮年ソフトボール大会開催
- 大船戸住宅開発開始
- 旧伊庭家住宅町指定文化財に指定(昭和53年)
- 旧伊庭家住宅保存修理完成(昭和53年~昭和55年)
- 安土城跡環境整備(大手道西側)



安土町公設小売センター完成 [昭和52年]

安土町水道事業所完成 [昭和52年]

# 昭和55年、新庁舎完成

城をモチーフにして  
住民とともに喜びを分かちあ  
新たな歴史を築いていく



安土町公民館完成 [昭和54年]

昭和52年4月、全国でも数少ない安土町公設小売センターが開設しました。食品や衣料品、日用品を扱う商業施設の建設を求める住民の要望が高まっていました。

昭和54年4月には、公民館と保育園が完成しました。公民館は鉄筋コンクリート造りの3階建てで、350人収容の大ホール、図書室、和室、研修室など、多目的に利用できるように設計されました。建物のイメージはセミナリヨをモチーフにし、柱の列、白い壁、スタンドグラスをはじめ

込んだ、文化の殿堂にふさわしい建物です。また、これまで各家庭の水道は簡易水道でしたが、上水道の整備により、その供用が開始されました。

そして、昭和55年には待望の新庁舎が完成。城をイメージした堅牢な印象の建物で、以来人々に親しまれています。昭和55年、旧伊庭家住宅が町指定文化財に指定されました。建築家のW.M.ヴォーリス氏が設計した建物であり、現在、文化的な行事や来賓を招く空間として利用されています。



町役場新庁舎完成(城をモチーフ) [昭和55年]



旧伊庭家住宅が町指定文化財に指定 [昭和55年]

■昭和51年(1976) ロッキード献金事件表面化/カンボジアでポル・ポト政権成立/ロッキード事件で田中角栄前首相逮捕 ■昭和52年(1977) 日本赤軍がボンベンベイ離陸直後の日航機をハイジャック ■昭和53年(1978) 探検家植村直己氏、北極点到達/新東京国際空港(成田空港)開港/北京で日中平和友好条約調印 ■昭和54年(1979) 東京で先進国首脳会議(東京サミット) ■昭和55年(1980) イラン・イラク全面戦争に突入

昭和51年~55年  
国内外の  
出来事



## 昭和56年～60年

### 昭和56年(1981)

- 織田信長400年祭開催
- 第1回西の湖花火大会開催
- 安土町商工会館完成
- 乳かん検診開始
- 安土・老蘇小学校、安土幼稚園プール改修
- 保育園運動場拡張
- 第1回婦人のつどい開催(平成5年より女性のつどい)
- 第1回信長杯ゲートボール大会開催
- 内野バイパス完成
- 町営住宅中層4階建完成(上豊浦住宅)
- 安土城跡環境整備(大手道西側)

### 昭和57年(1982)

- 西の湖を修景保全
- 常楽寺港錠の浜修景整備
- 老蘇郵便局完成
- 老蘇農協ライスセンター完成
- きぬがさ共同作業所開設
- 旧駅前観光案内所設置(旧駅前役場庁舎)
- 安土小学校校舎増築
- 第1回防災総合訓練実施
- 第1回安土町民健康マラソン大会開催
- 穴太衆流石積講座開催
- 観音寺城跡が国中跡に指定
- 大中の湖南遺跡一堅穴式住居完成
- 安土城跡環境整備(大手口・百々橋口山裾)

### 昭和58年(1983)

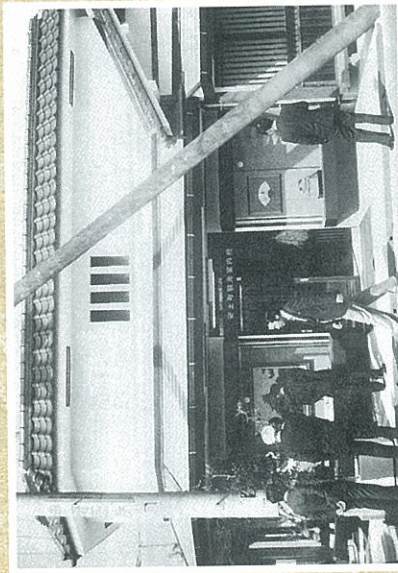
- ふるさとカルタ編纂
- 歴史の道10kmコースオープン
- 西の湖水郷めぐり遊船スタート
- 史跡地休憩所完成(安土山大手門・十三仏)
- 石寺楽座会館完成
- 石寺楽市完成
- 安土町ふれあい広場開催
- 安土町少年少女発明クラブ開講
- 弥生村体験学習開催(大中の湖南遺跡)
- 大中野楽温室団地完成
- 町道島打越道路開通
- 上豊浦地区は場整備事業完成(昭和55年～昭和58年)
- 安土城跡環境整備(大手口・百々橋口山裾)

### 昭和59年(1984)

- イタリア・ローマで安土城の屏風絵調査
- 第1回織田信長サミット開催(安土町が提唱)
- 安土郵便局新局舎完成
- 西の湖休憩所完成
- 安土中学校新校舎完成
- 第1回ふるさとカルタ大会開催
- ボーイスカウト滋賀藩生第二団結団
- 安土観景温室団地完成
- 小中之湖用排水施設整備事業完了(昭和51年～昭和59年)
- 衣笠台住宅開発開始

### 昭和60年(1985)

- 安土町文化条例制定
- 公共下水道整備着手
- 安土中学校旧校舎解体
- 安土保育園屋外保育施設増設
- 安土墓地公園完成
- (株)ロッテ滋賀工場操業開始
- 福島弁財天石垣修復



旧駅前観光案内所設置(旧駅前役場) [昭和57年]

# 昭和56年、夢が去つて400年

織田信長400年祭を開催し、日本の歴史の中で安土町の果たした役割を学ぶ



十三仏休憩所完成 [昭和58年]

日本の歴史の中で、安土町が果たした役割を活かしてまちづくりを進めていこうと、史跡の整備や歴史学習に取り組みました。織田信長没後400年を契機に昭和56年5月には、織田信長400年祭を開催。信長公をしのび馬ぞろえや砲術の披露、野点茶会、講演会を催した他、特設ステージでは信長賛歌、信長出世太鼓、総おどりなどのアトラクションが繰り広げられまし

た。また8月には西の湖花火大会が開催されました。昭和57年には、観音寺城跡が国の史跡に指定されました。標高432・7メートルの鞆山(観音寺山)に築かれたこの城は中世近江を支配した佐々木六角氏の居城跡です。大小無数の郭を構築した中世山城としては全国有数の規模を誇っています。

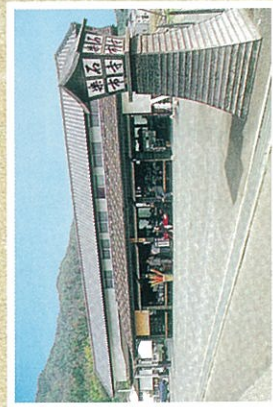
そして、昭和59年には、第1回織田信長サミットを安土



大中の湖南遺跡「堅穴式住居」完成 [昭和57年]  
弥生村体験学習開催 [昭和58年]



常楽寺港錠の浜修景整備 [昭和57年]



石寺楽市完成 [昭和58年]

■昭和56年(1981) ローマ法王ヨハネ・パウロ2世来日/パウロ2世来日/スペースシャトル初飛行 ■昭和57年(1982) 英軍の攻撃でフォークランド紛争勃発 ■昭和58年(1983) 東京ディズニーランド開園/日本海中部地震/大韓航空機墜落事件/レーガン米大統領来日 ■昭和59年(1984) 植村直己氏が世界初マッキンリー山冬季単独登頂に成功、下山途中行方不明になる/江崎グリコ社長誘拐事件発生 ■昭和60年(1985) 日航ジャンボ機墜落/ジュネーブで米ソ首脳会談

昭和56年～60年  
国内外の  
出来事



## 昭和61年～平成2年

### 昭和61年(1986)

- フェスタ信長開催(平成10年から信長まつり)
- 第1回安土楽市まつり開催
- 安土城障壁画模写講座開催
- 国指定重要文化財「桑實寺本堂」修理完成(昭和60年～昭和61年)

### 昭和62年(1987)

- 布引斎苑組合加入
- 大規模自転車道道路びわ湖よし道「完成」
- 駅前楽市楽座完成
- 地域ぐるみの子育て事業開始(推進会議発足・むぎ茶運動など開始)
- 抱きしめてBIWAKO西の湖で開催
- 安土農協カントリーエレベーター完成
- 地場産業振興にフランス鴨導入
- 国指定重要文化財「奥石神社本殿」屋根葺替

### 昭和63年(1988)

- 安土駅南広場整備事業完成(昭和61年～昭和63年)
- 安土町城郭資料館開館
- 相撲やぐら完成
- やぐら会館完成
- 安土楽市館完成
- 天主タワー完成
- 安土駐在所完成(城下町をモチーフ)
- 安土駅南北地下道完成(ケーブルカー設置)

- 大相撲安土場所開催
- 第1回近江大中牛1000人バーベキュー大会開催
- 旧観光案内所(旧駅前役場庁舎)解体
- 上豊遺跡切開鎖
- 株式会社安土設立
- 淡海修練所が町に寄贈される
- 安土町健康推進員協議会発足
- 安土町国際文化交流協会発足
- 第1回春の七草ウォークラリー開催
- 伝承芸能を鑑賞する会開催
- 特別史跡安土城跡調査整備委員会発足

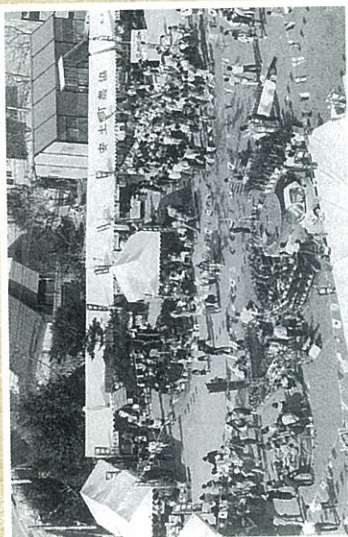
### 平成元年(1989)

- 公共下水道供用開始
- 名譽町民に遠藤耕作氏
- 安土町城郭資料館「安土城ひな型」完成(完成イベント「新始・上棟式」開催)
- 安土町国際文化交流団派遣(イタリア・スペイン・ポルトガル)
- 平成少年使節4名をローマに派遣(ローマ法王ヨハネ・パウロ2世に謁見)
- フランス鴨飼育開始
- 県農業試験場加工指導センター完成
- 特別史跡安土城跡調査整備(20年計画)スタート

### 平成2年(1990)

- 安土町役場土曜閉庁開始(第2・第4土曜日)

- 回対策環境改善事業終了
- やすらぎホール完成
- 第1回こどもよい歯のコンクール開催
- 第1回老人よい歯のコンクール開催
- 障害児サマーホリデー開始
- ふるさと和船「ともえ」運行開始(西の湖)
- フランス鴨飼育場完成
- 敬山林道整備事業完成
- 沙沙真神社が重要建造物に指定(本殿ほか)
- 町指定文化財「旧伊庭家住宅」改修整備



第1回安土楽市まつり開催 [昭和61年]

# 平成元年2月、 栄誉ある受賞

伝統文化都市をめざして  
「潤いのあるまちづくり」が  
自治大臣表彰を受ける



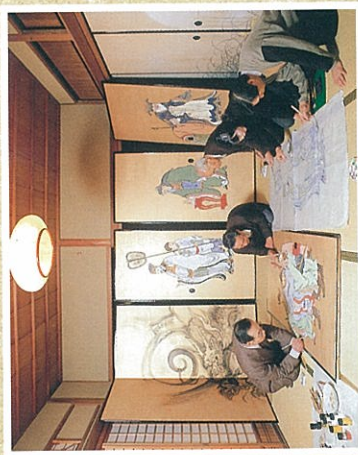
安土駅南広場整備事業完成 [昭和63年]



安土駅南北広場連絡地下道完成(ケーブルカー設置) [昭和63年]



第1回近江大中牛1000人バーベキュー大会開催 [昭和63年]



安土城障壁画模写講座開催 [昭和61年]

昭和60年に制定された安土町文化条例を受けて、歴史を生かしたまちづくりの一環として、昭和61年からフェスタ信長(平成10年からは信長まつり)や安土楽市まつりが毎年開催されるようになり、併せて地場産品の消費拡大のため近江大中牛の1000人バーベキュー大会などが開催されました。この頃、特産品にフランス鴨が取り入れられました。また、JR安土駅前広場の整備事業によって、昭和63年には駅南広場に安土町城郭資料館と相撲やぐらが、駅北広場には天主タワーと安土楽

市館、南蛮風の安土駐在所が完成し、駅の南北広場を結ぶ連絡地下道も完成しました。文化面では、天正少年使節の史実に基づき、昭和62年から順次イタリア・スペイン・ポルトガルの9都市と国際交流を始めました。そして、平成元年には国際交流団や平成少年使節団を派遣するなど、積極的な交流が始まりました。平成元年からは、特別史跡安土城跡調査整備委員会が発足し、安土城跡の本格的な発掘調査・復元を行う環境整備が20年計画で始められました。

■昭和61年(1986) ミスベア・スミスシャシ・リトル打ち上げ直後に爆発、乗員7人死亡/ソ連チエルノブイリ原発火災/先進国首脳会議(東京サミット)開催/伊豆大島の三原山が209年ぶりに大噴火 ■昭和62年(1987) ミソ首脳が中短距離核実験条約に調印 ■昭和63年(1988) 東京ドームが落成 ■平成元年(1989) 昭和天皇ご逝去、元号が「平成」になる/消費税スタート(3%) /ビルマ国名をミャンマーに変更/中国で天安門事件勃発 ■平成2年(1990) 大学入試センター試験実施/株面の暴落・パブル崩壊/イラク軍がクウェートを制圧/東西ドイツ統一/秋山豊寛氏が日本人初宇宙飛行

昭和61年～平成2年  
国内外の  
出来事



## 平成3年～7年

### 平成3年(1991)

- 中部清掃組合加入
- ゴミ焼却場閉鎖
- 大腸がん検診開始
- 安土駅北広場整備事業完成
- 駅前モニュメント「織田信長公像」完成
- セミナリヨ浜周辺整備完成
- 名譽町民に堀新助氏
- 第1回織田信長サミットスポーツ交流会
- 第1回佐々木六角観音寺城イベント開催
- NHK夏期巡回ラジオ体操誘致
- 安土バイコロシ整備完成
- 西の湖遊歩道完成
- 日本輸送機(株)操業開始
- 老蘇団地住宅開発開始

### 平成4年(1992)

- スペイン・セビリア万博開幕(日本館で安土城天主5・6階原寸大復元・視察団派遣)
- スペイン・セビリア万博の「安土城天主」安土町へ譲渡(安土城築城セレモニー開催)
- 文芸の郷グラウンド・テニスコート完成
- 県立安土城考古博物館開館
- 県立安土城郭調査研究所開設
- 安土山ボランティアガイドスタート
- 安土駅前歓迎アーチ設置
- 安土町城郭資料館入館者10万人突破
- 寺内浜修景整備
- 安土町立保健センター完成
- 在宅幼児保育指導訪問開始

- 学校週5日制スタート(第2土曜日休校)
- 老蘇幼稚園園舎増築
- 第1回ヒーローボール大会開催
- ガールスカウト滋賀県第39団発団
- 老蘇ニュータウン住宅開発開始

### 平成5年(1993)

- 安土町役場土曜閉庁開始
- あづちマリエート完成
- 安土城天主「信長の館」構想完成
- NHK大河ドラマ「信長」放映により観光客増大
- 西の湖がヨシ群落保全地域に指定
- 安土小学校・老蘇小学校グラウンド改修
- 安土小学校大規模改修(第1期)
- 安土中学校情報教育(パソコン)スタート
- 安土町青少年少女地域活動スタート
- マツバギクを使った雑草駆除事業スタート
- 安土北部地区は場整備事業常楽寺工区完成(昭和55年～平成5年)
- 観音寺本堂火災

### 平成6年(1994)

- 天皇・皇后両陛下安土町行幸啓
- 文芸の郷完成
- 文芸の郷キャラクター「のぶくんと姫」誕生
- 文芸の郷オープニングイベント(町内神輿揃え・献茶式・能公演など開催)
- 文芸セミナリヨ完成(安土城天主「信長の館」完成)
- 安土城天主「信長の館」入館者10万人突破
- 名譽町民に石橋信夫氏・堺屋太一氏・内藤昌氏

- 骨粗しょう症検診開始
- 常浜水辺公園完成
- 農協合併(JAグリーン近江)
- 安土町立図書館完成
- 安土小学校大規模改修(第2期)
- 安土小学校緑の少年団発団
- (財)安土町農業公社設立
- 桑實寺地区は場整備事業完成(平成4年～平成6年)

### 平成7年(1995)

- 第7代安土町長に仙波秀三氏就任
- 名譽町民に児玉麻里氏
- 安土町国際文化交流協会イタリヤ視察
- 文芸セミナリヨにパイプオルガン完成
- 信長の館の安土城天主に大屋根と金のしやちほこ完成
- 匠の里完成・匠の里講座スタート
- 正気園完成
- 安土町アイサービスセンター完成
- きぬがさ作業所新築移転
- 音楽療法「はつらつコンサート」開始
- 学校週5日制が月2回に
- 老蘇小学校緑の少年団発団
- 第1回てくてく歩こう会開催
- 県重要文化財「浄遊院塼門」保存修理(平成5年～平成7年)

文芸の郷キャラクター「のぶくんと姫」  
[平成8年]



# 平成6年、天記念事業

「幻の名城」と呼ばれた安土城の天主がスペインよりふるさとへ

平成3年焼却炉の老朽化に伴い、広域でごみ処理を行う中部清掃組合に加入しました。平成4年には県立安土城考古博物館が完成、隣には新しい文化の発信基地となる安土町文芸の郷の建設が進められ、平成5年に文芸の郷グラウンドとあづちマリエートが、翌6年には文芸の郷がオープンしました。また文芸セミナリヨや安土城天主「信長の館」も次々に完成しました。平成7年には町内に初めての安土町立図書館や、伝統芸能・技術を継承する匠の里がオープ

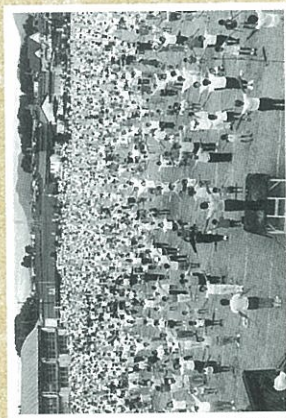
ンし、障壁面模写講座や陶芸教室が行われました。学校では、平成4年から週5日制が導入され、平成5年からは中学校から順次情報教育(パソコン)がスタートしました。福祉面では、健康センターの老朽化と時代のニーズに合わせて、平成4年に安土町保健センター、平成7年には在宅介護を支援する安土町アイサービスセンターがオープンしました。とくに保健センターでは、在宅幼児の保育指導も始められました。



NHK大河ドラマ「信長」放映により観光客増大 [平成5年]



安土町立図書館完成 [平成6年]



NHK夏季巡回ラジオ体操誘致 [平成3年]



匠の里完成 [平成7年]

■平成3年(1991) 湾岸戦争勃発/南アフリカでアパルトヘイト終結宣言/ソ連が消滅、ロシア共和国になる  
■平成4年(1992) 国連平和維持活動(PKO)法が施行/スペースシャトル「エンデバー」に毛利衛氏搭乗  
■平成5年(1993) Jリーグ開幕/夏木子殿下と小和田雅子さんご成婚/北海道南西沖地震  
■平成6年(1994) 松本サリン事件/スペースシャトルに日本人初の女性飛行士向井千秋氏搭乗/関西国際空港が開港/大江健三郎氏、ノーベル文学賞受賞  
■平成7年(1995) 阪神・淡路大震災/東京地下鉄サリン事件

平成3年～7年  
国内外の  
出来事



## 平成8年～12年

### 平成8年(1996)

- 安土町役場に国際交流員配置
- 国際文化交流都市表敬訪問(イタリア)
- ジャパンウィークで安土町をPR(イタリア・ヴェネツィア)
- 旧役場庁舎(旧琵琶湖干拓建設事業所)解体
- 安土町B&G海洋センター完成
- まちむら交流事業開始(作物のオーナー制導入)
- 安土町福祉自動車運行開始
- 安土町シルバー人材センター発足
- 老蘇小学校校舎増築完成
- 安土夢街道オープン
- 第1回あづち探検紀行開催
- 安土北部地区ほ場整備事業香庄工区完成(昭和54年～平成8年)
- 安土城跡で金のシャチホコの瓦片発見

### 平成9年(1997)

- 第1回あづち新春夢談義開催
- 北海道上ノ国町と友好町提携
- 安土中学校新体育館完成
- 西の湖ふれあいハウス完成
- 子育て支援センター開設(保健センター内)
- 安土町シルバー人材センター移転(旧健康センター)
- 安土町老人クラブ連合会移転(旧健康センター)

- 安土町認定農業者協議会発足
- 安土北部地区ほ場整備事業慈恩寺工区完成(昭和54年～平成9年)
- 安土町ボランティアガイド発足

### 平成10年(1998)

- イタリア・イモラ市長が安土町を表敬訪問
- 安土町コミュニティ防災センター完成
- 安土町学校給食センター完成
- グループホーム「はなみずき」開所
- 移動図書館車スタート
- 教林坊が町指定文化財に指定
- 県指定重要文化財「沙沙真神社」保存修理

### 平成11年(1999)

- 安土町アイサービスセンター増築(在宅介護支援センター)完成
- 地域振興券交付事業実施
- 安土城跡で金箔軒丸瓦発見(彌手道入口付近)
- 織田信長の「天下布武」黒印状発見(大阪府枚方市)

### 平成12年(2000)

- 有線放送終了
- 防災行政無線設置・開局
- 介護保険制度スタート
- 老蘇小学校バリアフリー型新アール完成
- 安土保育園全面改修

- 安土城天主「信長の館」入館者50万人突破
- さっぽろ雪まつりで安土城復元・安土町をPR
- 西の湖浚渫事業着工(平成12年)
- 安土北部地区ほ場整備事業小中工区完成(昭和54年～平成12年)



安土町コミュニティ防災センター完成 [平成10年]

# 平成10年、 安心安全な まちづくり

一人ひとりが安心して暮らせる  
まちの介護支援、  
防災拠点がより充実



さっぽろ雪祭り  
で安土城を復元  
[平成12年]



安土町学校給食センター完成  
[平成10年]



安土町B&G海洋センター完成 [平成8年]

平成8年には、青少年の育成施設として安土町B&G海洋センターがオープンし、翌年には、同敷地内に西の湖ふれあいハウスが完成。平成10年には安土町学校給食センターが一新され、安心安全で美味しい給食が提供できる充実した施設が完成しました。

また、平成8年から、まち

とむらの交流事業として農作物のオーナー制が始まり、町外・県外はもとより畑のない町内の方々も応募され、夏や秋には収穫を楽しめました。

福祉の分野では、平成8年の安土町シルバー人材センター発足、安土町福祉自動車導入に続き、平成11年には、安土町アイサービスセンター(B型)に加え、特殊浴槽や食堂兼りハビリホールなどを備えたアイサービスセンター(E型)が増設されました。さらに介護の総合的な窓口機能として在宅介護支援センターも併せて完備されました。

平成10年には、備蓄倉庫や防災会議室を設けた安土町コミュニティ防災センターが完成し、防災活動の拠点となりました。また、平成12年には開局以来38年、地域の話題や一斉放送に活躍してきた安土町有線放送が終了し、代わって防災行政無線が登場しました。

■平成8年(1996) スベースシャトル「エンデバー」に吉田光一氏搭乗/O-157食中毒発生  
■平成9年(1997) イギリスでクローン羊誕生/香港が英国から中国へ返還/消費税が3%に引き上げ  
■平成10年(1998) 世界最長の明石海峡大橋が開通/サッカーW杯に日本初出場  
■平成11年(1999) 情報公開法、日米ガイドライン閣議決定/国産・国歌法が成立/東海村ウラン加工施設で臨界事故  
■平成12年(2000) 韓国・北朝鮮、南北首脳会議/三宅島の雄山が噴火/沖縄でサミット開催/白川秀樹氏、ノーベル化学賞受賞

平成8年～12年  
国内外の  
出来事



## 平成13年～17年

### 平成13年(2001)

- 東近江地域三町合併検討協議会発足(安土町・五箇荘町・能登川町)
- 安土町・五箇荘町・能登川町が近畿で初めて県の合併重点地域に指定
- 観光レトロバス「きぬがさ号」運行(安土町・五箇荘町・能登川町)
- J-R安土駅前イルミネーション点灯
- 第1回稲穂まつり開催
- 安土町赤十字奉仕団50周年
- 安土小学校創立100周年記念式典開催
- 老蘇小学校運動場改修・遊具更新
- 老蘇幼稚園園舎増築
- 叡山山林火災発生(5月19日)

### 平成14年(2002)

- 安土最終処分場完成
- 住民基本台帳ネットワークシステム運用開始
- 安土町・五箇荘町・能登川町合併協議会設置
- 合併協議会で新市名を「安土市」に内定
- 文芸の郷グラウンドナイター照明完成
- 文芸の郷練習場完成
- 文芸の郷に「あど木つすらんど」完成
- 安土健康づくりセンター「悠々元氣園」完成
- 完全学校週5日制スタート
- 老蘇小学校ヒートアップ完成
- 老蘇中山道400年記念祭開催
- 叡山山林火災跡復旧(県営治山事業実施)

- 米政策改革大綱策定
- 山本川かんがい排水事業完成(昭和54年～平成14年)
- 町指定文化財「教林坊」保存修理

### 平成15年(2003)

- 安土町・五箇荘町・能登川町合併協議会解散(五箇荘町脱会による)
- 安土町・能登川町の2町合併を模索
- 第8代安土町長に津村孝司氏就任
- 安土町・能登川町の2町合併を止め当面単独町制とする
- 住民基本台帳ネットワークシステム第2次サービス開始
- 健康づくりセンター屋根付き多目的運動広場完成
- 安土小学校バリアフリー完成
- 安土町公民館バリアフリー完成
- 梅の川、商工会の手により復活

### 平成16年(2004)

- 町制50周年記念シンボルキャラクター「あつち」誕生
- 名誉町民に樋口廣太郎氏、大野俊明氏
- 町長議長がイタリア・アントヴァ市を表敬訪問
- 安土町役場ISO事業スタート
- 安土中学校創立50周年記念式典開催
- 特別養護老人ホーム「安土やすらぎの郷」開設

### 平成17年(2005)

- 小中の湖水質保全池「よしきりの池」完成
- 山本川改修事業完成
- 史跡観音寺城跡保存管理計画策定委員会発足
- イタリア・アントヴァ市と姉妹都市調印
- 国際文化交流団派遣(ローマ法王と謁見)
- 安土町・近江八幡市合併協議会設置
- 合併協議会で新市名「安土八幡市」に決定
- 安土町・近江八幡市合併協議会解散(住民アンケートにより合併中止)
- 安土町集中改革プラン策定
- 安土町新エネルギービジョン策定
- さつき会館廃止
- 安土町・滋賀大学相互協定調印
- 安土小学校新体育館・プール完成
- 安土小学校に太陽光発電導入
- 安土学童保育所完成
- 安土町消防団に女性消防団誕生
- 安土北部地区は場整備事業  
上出工区完成(昭和54年～平成17年)
- 大中の湖地区土地改良総合整備事業(平成4年～平成17年)



町制50周年記念シンボルキャラクター「あつち」誕生 [平成16年]

# 平成16年、町制50周年

半世紀の歴史を振り返り、未来に向けてさらなる町の発展を願う

叡山山林火災が平成13年に発生し、約57ヘクタールを延焼しました。同年12月には安土町商工会によって、J-R安土駅前のイルミネーション事業が始められました。

教育面では平成14年から、学校週5日制が毎週導入された他、老蘇小学校では、環境教育の一環としてヒートアップが整備されました。

また、健康づくりセンター「元氣園」が平成14年から同「悠々元氣園」として生まれ変わり、翌15年には全天候型の多目的運動広場が完成しました。

平成16年に町制施行50周年を迎え、同年には、安土町新エネルギービジョンを策定。安土小学校には太陽光発電も導入されました。

そして、平成13年から協議されてきた安土町・五箇荘町・能登川町の三町合併が五箇荘町の離脱によって取り止めとなり、能登川町との二町合併も取り止めとなりました。さらに、平成17年の安土町・近江八幡市との合併協議は、住民アンケートの結果により見送られました。



安土小学校新体育館完成 [平成17年]



老蘇小学校にヒートアップ完成 [平成14年]



叡山山林火災発生 [平成13年5月19日]

■平成13年(2001) ミネニューヨーク・ワシントンで同時多発テロ/テロ対策特別措置法が成立/野依良治氏、ノーベル化学賞受賞 ■平成14年(2002) 日本人拉致被害者5名が北朝鮮から帰国/小柴昌俊氏がノーベル物理学賞、田中耕一氏がノーベル化学賞を受賞 ■平成15年(2003) 中国・香港発の重症急性呼吸器症候群(SARS)発生/火星が約6万年ぶりに地球へ大接近 ■平成16年(2004) 新潟県中越地震 ■平成17年(2005) 愛知県で日本国際博覧会「愛・地球博」開幕/JR福知山線で脱線事故/スベースシャトル「ディスカバリー」に野口聡一氏搭乗

平成13年～17年  
国内外の出来事



平成18年～22年

平成18年(2006)

- 安土町役場口籍電算システム導入
- 安土町地域包括支援センター設置(愛称ぬくもりセンター)
- さつき会館解体
- 安土町役場事業仕分け実施
- 安土町まちづくり協議会発足
- 安土町土砂災害情報相互通信システム設置
- 安土町地震ハザードマップ作成
- 町内公共施設の耐震工事スタート
- 町内公共施設にAED設置
- 西の湖花火大会休止
- 安土町・マントワア市国際親善サッカー大会開催
- 第1回安土町環境のつどい開催
- 第1回あつち文芸の郷桜まつり(あつち信長春まつり)開催
- 手こぎ和船「安土城お堀めぐり」スタート
- 安土南部地区は場整備事業石寺・東老蘇・西老蘇工区完成(昭和62年～平成18年)
- 安土城観音寺城が「日本100名城」に選定

平成19年(2007)

- 子ども安全情報システム導入(携帯電話等メール配信)
- 安土城屏風絵探索プロジェクト調査団派遣(ローム・パナカン)
- 安土城天主信長の館「人鶴着100万人突破」
- 安土町菜の花プロジェクトスタート

平成20年(2008)

- 第1回西の湖ヨシ遊形とヨシ灯り展開催
- 内野地区担い手育成基盤整備事業完成(平成5年～平成19年)
- ふるさと納税「安土町ふるさと応援寄附条例」制定
- 安土町・近江八幡市合併検討協議会設置
- 西の湖がラムサール条約登録湿地に指定
- 国民健康保険証カード化
- 安土駅北側公営駐車場オープン
- 安土中学校に茶室「天正庵」完成
- 県指定有形文化財に杉原氏庭園・旧安土巡査駐在所が指定
- 国指定文化財「奥石神社本殿」修復
- 特別史跡安土城跡調査整備完了(平成元年～平成20年)
- 史跡観音寺城跡調査整備事業開始

平成21年(2009)

- 安土町食育推進計画策定
- 「ごはんとみそ汁のまちあつちプロジェクトシンボルキャラクター」こめ将軍・つゆ姫・ねぎしい誕生
- 第1回環境シンポジウム開催
- 安土駅北側公営駐車場閉鎖
- 安土町・近江八幡警察署暴力団排除協定調印
- 安土町議会が安土町住民投票条例を否決

平成22年(2010)

- 安土町・近江八幡市合併協議会設置
- 安土町議会が安土町・近江八幡市の合併を議決
- 滋賀県議会が安土町・近江八幡市の合併を議決
- 総務省の廃置分合告示(7月31日)
- 安土町長解職請求
- 安土町長解職投票(解職)
- 第9代安土町長に大林宏氏就任
- 安土町議解散請求
- 全国山城サミット開催
- 映画「火天の城」上映により観光客増大
- 安土町議解散投票(解散)
- 安土町・近江八幡市新設合併・新「近江八幡市」誕生(3月21日)



映画「火天の城」上映により観光客増大 [平成21年]



安土町食育推進計画「ごはんとみそ汁のまちあつちプロジェクト」シンボルキャラクター誕生 [平成21年]  
「こめ将軍・つゆ姫・ねぎしい」誕生

平成22年、平成の大合併

再浮上した合併の動き  
合併協議会の設置により  
新「近江八幡市」の誕生へ

平成18年には、高齢者の総合相談窓口となる安土町地域包括支援センター(愛称ぬくもりセンター)がオープン。同年、地震ハザードマップが作成された他、学校や公民館など、公共施設の耐震工事が順次始められました。その他、救急医療対策として、公共施設にAEDの装置が設置されました。

平成19年には携帯電話のメール機能を使い、不審者などの情報を共有する「子ども安全情報システム」が導入され、翌20年には、ふるさと安土町に思い入れのある方などが納税(寄附)できる「安土

町ふるさと応援寄附条例」が制定された他、国際的に重要な湿地として、西の湖がラムサール条約登録湿地に指定されました。

また、平成21年には、安土町食育推進計画が策定され、ごはんとみそ汁のまちあつちプロジェクトを展開。地産地消をはじめ、生涯にわたっての食育を推進した他、学校給食においても食育が推進されました。

そして、安土町と近江八幡市の合併を巡る動きが再浮上し、平成20年には安土町・近江八幡市合併検討協議会が、

翌21年には安土町・近江八幡市合併協議会が設置されました。そんな中、住民団体から合併を推進した町長への解職請求や、住民の意思を問う住民投票条例を否決し、合併を決議した議会の解散請求などが提出され、投票の結果、リコールが成立しました。しかし、町長のリコール運動の最中、両市町議会や県議会で合併が決議され、総務省が安土町と近江八幡市の廃置分合を7月31日に告示され平成22年3月21日に新「近江八幡市」が誕生することとなりました。



安土中学校に茶室「天正庵」完成 [平成20年]



県指定文化財に杉原氏庭園(左)と旧安土巡査駐在所(右)が指定 [平成20年]



■平成18年(2006) 世界人口65億人突破/兵庫県に神戸空港開港 ■平成19年(2007) 大阪府で世界陸上選手権開幕/郵政民営化 ■平成20年(2008) 中国・四川大地震、被害者1,000万人超の大災害/岩手・宮城内陸地震/イチロー選手8年連続200本安打達成、1世紀ぶりメジャー記録に並ぶ/小林誠氏、南部陽一郎氏、益川敏英氏がノーベル物理学賞、下村脩氏がノーベル化学賞を受賞/オバマ氏が黒人初の米国大統領に就任 ■平成21年(2009) 定額給付金支給/新型インフルエンザが発生、日本を含めた世界各国で感染者が広がる/裁判員制度スタート

平成18年～22年  
国内外の  
出来事